

分野	授業科目名	単位数	時間数	履修期間	担当教師
専門分野Ⅱ 精神看護学	精神保健論	1単位	30時間	1年次後期	嶋田 佐和子

テキスト(発行所)	精神看護学[1]精神看護の基礎 医学書院 精神看護学[2]精神看護の展開 医学書院 パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 照林社
テキスト以外の教材、参考図書	公衆衛生がみえる MEDIC MEDIA 国民衛生の動向 厚生労働統計協会、ビデオ各種

学習のねらい	こころの健康と生活との密接なつながりについて、ライフサイクルや生活の場などの視点で心に及ぼす影響について考える。精神保健に関する制度や法的根拠について学び、対象の人権の理解と尊重の重要性を理解する。またリエゾン精神看護の基本と実践を学ぶ。
学習目標	1. 心の健康と精神保健とは何かについて考える。 2. 生活の場と精神保健について理解する。 3. リエゾン精神看護について理解する。 4. 精神保健に関する制度、法的根拠について理解する。 5. 精神疾患を持つ対象を取り巻く環境、家族について理解する。

学習スケジュール

回数	主題	学習内容	履修形態・他
1回	精神保健とは何か	精神保健の目的	講義
2回・3回	生活の場と精神保健	①学校②家庭③職場④地域社会	グループワーク
4回		発表会	
5回・6回	ライフサイクルと精神保健	①学童期②思春期③成人期④老年期	グループワーク
7回		発表会	
8回・9回	自己理解・他者理解	ペプロウの看護理論とプロセスレコード 共感	講義
10回	リエゾン看護	1. リエゾン看護とは 2. 臨地で見られる主な精神症状と対応	専門看護師による講義
11回		①せん妄②不眠③不安④幻覚・妄想⑤抑うつ⑥怒り	専門看護師による講義
12回	精神保健と法律	精神保健法・自立支援法	講義
13回	多職種連携	精神デイケア SMW	講義
14回	精神疾患と薬物		講義
15回	精神保健まとめ	共生社会 ノーマライゼーション社会	講義

単位認定の方法	1. 筆記試験 80点 2. レポート課題 10点 3. パフォーマンス課題 10点 出席時間の80%の出席かつ1+2+3の点数が60点以上で単位認定する。
---------	---

受講上のアドバイス	私たちの生活は「こころ」のあり様と密接に関連しており、人間関係やよりよい生活のためには「こころ」が健康であることが望まれる社会となりました。心の健康が変調をきたすと、どんな問題が起こりうるのでしょうか。こころの変調は成長のきっかけにもなります。こころの問題が誰か特定の特別な問題ではなく、私たちの日常に起こる問題としてとらえ、精神障害をもつ人の理解にとどまらず、看護の対象となるすべての人々の心の理解や看護実践に生かされるための学びにしたいと考えています。
-----------	--